

〔協定加盟事業所からの事業所紹介〕

東海ノア協力協定加盟事業所間の相互理解を図ることを目的に、安全活動への取組状況等について加盟事業所からの紹介記事を掲載します。

—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—〇—

『技術センターの安全への取り組み』

住友金属鉱山株式会社

経営企画部 グループ事業管理室 技術センター

技術センターでは、放射性物質の溶媒抽出法による分離、精製に関する技術開発、ウランで表面汚染された金属等の廃棄物処理する技術開発に取り組んできました。現在は、試験研究に使用した施設・設備の維持管理・安全点検を行うと共に、不用になった試験研究・開発施設や設備の解体および管理区域の解除措置を実施しています。

当センターの組織は、事務全般を行う管理グループ、管理区域建屋を含む施設の管理を行う施設管理グループ、放射線管理を含む安全管理を行う安全管理グループの3グループから構成されています。

当センターでは、自主的に「保安全管理規程」を定め、その中で核燃料物質の使用に係る保安上の職務・組織を運用しています。

安全に関する体制としては、センター長のもと安全衛生委員会、安全専門委員会を置き、当センター全体の安全に関して審議を行っています。また、規模の大きな工事に関しては工事協力会社を取り込んだ工事安全協議会を置いて、毎月、工事の安全性に関する審議や合同パトロールを実施しています。

当センター内で、新規作業を実施しようとする場合には、「安全管理計画書」を作成し、安全専門委員会において審議した後、センター長の承認を得なければなりません。承認された「安全管理計画書」は関係者に周知徹底しています。また、許可変更の必要性やその可否に関しても安全専門委員会で審議し、許可事項の内容の整合性を確認しています。

労働安全衛生全般については、労働安全衛生管理システム（OSHMS）を導入し、これに従って遂行しています。

施設の保守管理については、防火管理上の点検および設備からの液漏れ等の点検を管理区域内外について毎日1回センター員で実施しています。点検の結果、不具合箇所が発見された場合は、防火管理者または作業責任者に事態を報告し、対応することになっています。

環境保全に関しては、2002年3月9日付けでISO14001認証を取得して以来、毎年認証の更新を実施し、「環境方針」の設定、年間計画に従った環境教育や環境文書の見直し等の活動を実施しています。

教育・訓練計画については、「教育訓練実施要領」を策定し、教育訓練の詳細を定めています。年4回の全体教育訓練では、当センター員が持ち回りで講師を務め、訓練終了後には、効果の確認テストも実施しています。また座学とは別に、緊急時の対応訓練（通報訓練、消火訓練等）を実施して緊急時対応に備えています。

最後に、当センターでは、全従業員が安全意識の向上を図りながら、日々の作業に従事しています。今後とも、地域の皆様ならびに東海ノア協定加盟事業所の方々のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上